



日本共産党品川区議会議員

# 週刊 みやざき克俊 ニュース

2011年9月18日 No.767

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL.3786-6674



共産党 品川

検索

# 放射能から子どもを守って

## 品川区も放射線量下げる対策を

学校や保育園などの測定は1施設1ヶ所のみ。汚染の実態を正確に調査できるでしょうか？



写真は学校の放射線測定の様子  
品川区ホームページより



東日本大震災から半年以上が経過しましたが、復旧・復興の遅れと原発事故による放射能汚染の広がりは深刻。区民にも心配が広がっています。放射能から区民・子どもたちを守るために品川区としても全力で対策に取り組むことが求められています。

### 放射性物質測定結果

9月5日測定

品川区は「日本人のお米の1ヶ月の摂取量で受ける放射線量より低いので心配ない」と説明しています。

測定場所	単位: Bq/kg (ベクレル毎キログラム)		
	セシウム134	セシウム137	ヨウ素131
●●中学校・校庭(荏原1)	33	34	検出されず
▲▲中学校・校庭(南大井2)	26	24	検出されず
◆◆保育園・園庭(小山1)	28	29	検出されず
●▲保育園・園庭(東品川1)	18	20	検出されず
●◆公園・砂場(勝島3)	44	46	検出されず
▲◆公園・砂場(西品川1)	22	28	検出されず

子どもは放射能への感受性が高く、放射能から子どもたちの健康を守ることは日本社会の大問題。汚染から子どもたちを守る対策の遅れは重大です。ところが、政府は小中学校の屋外活動を制限する限界放射線量を原発労働者が働く放射線管理区域並みの「年間20ミリシーベルト」に基準を緩めようとなりました。これは国民の猛反発で撤回しましたが放射能から子どもを守る対策がもとにできていません。そうしたなか、区民にも地方に避難したり学校の水や給食を拒否し子どもに水筒や弁当を持たせる動きもあり、区民が安心できる対策は急務です。

〈お知らせ〉 当ニュースは都合により次週の発行を休みます。

## 放射能 測定と除染

# 学校・保育園など私立も 対象に。通学路も…

放射線は少量でも発がんなどの危険性があり被ばくは少ないほど良いというのが放射線防護の原則。区でも除染などで放射線量を下げることができません。共産党は区民の不安に応える対応を求めています。

第一は、放射能のきめ細かい実態調査と除染です。

品川区がおこなっている放射性物質測定は週1回。区立小中学校、保育園、公園など各2ヶ所ずつで1施設1ヶ所の測定。

これでは汚染の実態を正確に把握することはできません。

放射性物質の測定は汚染が心配されるすべての地域で行い「放射能汚染マップ」を作成すること。私立も含め学校や保育園、通学路、公園など子どもたちが近づく場所の集中的な測定が必

要です。区民の要望する場所も

測定し汚染程度が高いところが

あれば除染も必要になります。

23区の中でも比較的高い放射線量が測定された東部地域は区独自に除染をおこなっています。

## 給食食材の安全確保を

第二は、給食食材の安全確保です。学校給食にすでに放射能に汚染された食材が一部使われました。品川区は、政府が食品の暫定規制値を定めていることをもって、流通している食材は

## 区民から区議会に陳情が…

保育園や学校の子どもをもつ親御さんが区議会に陳情を出しました。内容は…

- ①給食食材の放射線量の区独自検査と調理水のフィルター使用。食材選定は汚染地を除外。あらゆる手立てで子どもたちの給食による内部被曝を防ぐ。
- ②給食に携わる栄養士・調理師、校長・園長・教職員等に放射線被曝に関する知識の徹底と被曝予防対策に努める。
- ③区内の各幼稚園・保育園、小中学校に線量計を配置し放射線量の計測と高線量部位の除染、活動の制限の徹底。
- ④園、学校等で採れた野菜等は検査で安全とされたもの以外食べさせない…というもの。議会も心配に応える対応が必要です。



## お困りのときは お気軽にご相談ください

無料法律相談は9月16日(金)

弁護士が対応 10月21日(金)



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所  
品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674